慶應義塾大学学術情報リポジトリ

Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	「特集」に寄せて
Sub Title	
Author	萩原, 滋(Hagiwara, Shigeru)
Publisher	慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所
Publication year	2004
Jtitle	メディア・コミュニケーション:慶応義塾大学メディア・コミュニケーション研究所紀要 (Keio
	media communications research). No.54 (2004. 3)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	特集 : TVステレオタイピング(2)
Genre	Article
	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA1121824X-20040300-0003

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.



「特集」に寄せて

慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所 邦文紀要『メディア・コミュニケーション』編集担当 『メディア・ステレオタイピング』プロジェクト代表 萩原 滋

本号では,前号(53号)に引き 続き、「メディア・ステレオタイ ピング」プロジェクトの研究成果 を取り上げることになり、「TVス テレオタイピング(2)」というタ イトルで5篇の特集論文を掲載し た。このプロジェクトは、偏見や 差別と結びつきやすいステレオタ イプの構築という点でのメディア の影響力,特に日本社会に広く浸 透して多くの人々の主要な情報源 となっているテレビのステレオタ イピング機能を外国・外国人を主 題として多角的に分析することを 目的に平成13年度に発足したもの である。これまでの3年間, 文 化的背景を異にする多数の外国人 がスタジオに集結して硬軟取り混 ぜた多様な話題に関して日本語で 論戦を繰り広げた「ここがヘンだ よ日本人」(TBS系)というバラ エティ番組(1998年10月~2002年 3月), サッカーファン以外の 多くの日本人を巻き込んで巨大な メディア・イベントと化した日韓 共催のFIFAワールドカップに関 するテレビ報道(2002年5月23日 ~ 7月5日), 外国(西洋)イ メージへの依存度が高いテレビ CM(2003年6月2日~8日)とい う3種類の異なるテレビ素材の内 容分析を行うと共に,2002年5月 末,7月初,10月初の3時点で大

学生を対象とする質問紙調査を実施して、「ここがヘンだよ日本人」という番組の視聴効果やW杯よる外国イメージの変化の様相を検討した。さらに2003年7月には小学生、中学生、高校生を対象とする質問紙並びに面接による調査を実施して、外国・外国人に関する知識やイメージの発達過程の分析を試みている。

前号の特集では, 主に「ここが ヘンだよ日本人」を対象とした分 析結果を取り上げたが,今回はテ レビCMを素材とした研究を中心 に特集を組んでいる。テレビCM に関する3篇のうち,萩原論文で は,外国人,外国風景,外国語と いった外国要素の利用実態を詳し く分析し,10年前との比較を通じ てテレビCMに現れる外国イメー ジの動向について考察している。 国広論文では,日本社会に根強く 存在する単一民族社会の神話,外 国人というカテゴリーを自明視す る日本人の心性を批判的に捉え, テレビCMにみる日本人の自意識 をナショナル・アイデンティティ との関連で読み解こうとしてい る。有馬論文では,西洋文化への 憧憬と畏怖といった異文化受容に 際しての日本人の複雑な心情がへ アケア関連のCMにどのように反 映されているかを吟味している。

本特集には,CMを扱ったこれらの論考以外に,2篇の論文が収録されている。ひとつは小学生,中学生,高校生の外国に関する知識やイメージの発達を質問紙並びに面接調査によって検討した「こよいう番組では、もうひという番組では、もうひという番組が終了して間もない時期と約半年後に実施された2回の調査に基づいた実施された2回の請査に基対にて、対域に表対である。

本プロジェクトでは,これまでに作成した番組構成表や質問紙調査の回答の分析作業は,今後も継続して行っていくが,基礎となる

データ収集,実証研究の部分は本 年度をもってひとまず終了するこ とにした。これまでの研究成果を 取りまとめて2004年秋に成書とし て出版することを目指して,これ から来年度にかけて,その準備に 専心する予定である。なお本研究 は慶應義塾大学メディア・コミュ ニケーション研究所の研究・教育 基金(平成13~15年度), 文部科 学省科学研究費基盤研究C(平成 14~15年度),放送文化基金(平 成13年度)による資金補助によっ て実現したものである。関係者各 位に対して改めて謝意を表した 610

本研究プロジェクトのメンバーは以下の通りである。

研究代表者 萩原 滋 慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所教授

共同研究者 国広 陽子 武蔵大学社会学部教授

- 同 有馬 明恵 平成国際大学法学部講師
- 同 相良 順子 聖徳大学人文学部講師
- 同 上瀬由美子 江戸川大学社会学部助教授
- 同 金 鉉哲 慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所研究員
- 同 山本 明 慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所研究員
- 同 黄 允一 慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所研究員
- 同 渋谷 明子 慶應義塾大学大学院社会学研究科博士課程
- 同 大坪 寬子 慶應義塾大学大学院社会学研究科博士課程